

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友ゴム工業株式会社（証券コード:5110）

【新規】

発行登録債予備格付 A+

【据置】

長期発行体格付 A+
 格付の見通し 安定的
 債券格付 A+
 国内CP格付 J-1

■格付事由

- 国内第2位のタイヤメーカー。15年の米グッドイヤー社とのアライアンス契約解消に伴い、北米及び欧州での開発・生産が可能になった。17年に英国大手のタイヤ販売会社 Micheldever Group Ltd. と海外の DUNLOP ブランド事業を買収した。新中期計画では高機能タイヤのグローバルでの増販と供給能力増強などにより、25年事業利益1,000億円以上、D/E レシオ0.5倍以下などを旨す。
- 半導体供給不足に伴う自動車生産停滞と原料価格上昇のマイナス影響を受けているが、補修用タイヤの堅調な販売や高付加価値商品の拡販などが損益を下支えしている。海外生産拠点拡充に伴う固定費・経費の増加により、14/12期をピークに減益傾向にあったが、足元では悪化に歯止めがかかる見込みである。生産性改善と拡販により海外生産拠点の損益が改善しつつある。当面、自動車生産回復に伴い、新車向けタイヤの販売回復も見込めることから安定した業績推移が予想される。財務構成も徐々に改善していくと考えられる。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 21/12期事業利益（IFRS）は前期比6.0%増の460億円の計画（21/12期第3四半期発表時点）で、自動車生産停滞の中でも底堅く推移している。補修用タイヤの堅調な販売、高付加価値商品の拡販や値上げ効果などが背景にある。中期的な利益水準の回復には近年、生産能力増強をした海外生産拠点の更なる損益改善、高付加価値商品への注力の成果などが必要と考えられる。
- 近年の買収や海外生産能力増強で有利子負債が増加したが、自己資本比率は21/12期第3四半期末46.2%と比較的良好な水準を維持している。設備投資については効率化に努めており、概ね営業キャッシュフローの範囲内にとどまる見通しである。21年7月公表した防舷材検査ならびに海外子会社でのタイヤ生産における品質管理に係る不適切な事案については、同年11月に再発防止策などを公表しており、引き続き再発防止策の実効性などをフォローしていく。

（担当）窪田 幹也・上村 暁生

■格付対象

発行体：住友ゴム工業株式会社

【新規】

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	500億円	2021年12月12日から2年間	A+

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年6月25日	2024年6月25日	0.755%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月20日	2027年6月18日	0.335%	A+
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	700億円	J-1			

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022年1月13日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「タイヤ」（2014年5月8日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 住友ゴム工業株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル